

# New Year's Day Service



**January 1st. 2026**  
**11:00AM ~ (English)**  
**1:00PM ~ (Japanese)**

**You are free to enter  
the temple until 3:00PM**

**15時までご自由に  
参拝していただけます**



Sheppard West駅を降りてすぐ!  
**TORONTO BUDDHIST CHURCH**  
*A Jodo Shinshu Temple*  
トロント本願寺（仏教会）

**初詣  
元旦法要**



✉ tbc@tbc.on.ca  
☎ 416-534-4302 (土休)  
日本語での問い合わせは  
駐在僧侶 橋本・杉浦まで



# New Year's Eve Ringing Bell

トロント本願寺

## 除夜の鐘



December 31, 2025  
11:30 PM ~

どなた様も1度ずつ鐘をついて  
いただけます

Everyone rings the bell  
one time each.



Sheppard West駅を降りてすぐ！  
TORONTO BUDDHIST CHURCH  
*A Jodo Shinshu Temple*  
トロント本願寺（仏教会）



[tbc@tbc.on.ca](mailto:tbc@tbc.on.ca)



416-534-4302 (土休)

日本語での問い合わせは  
駐在僧侶 橋本・杉浦まで



阿弥陀さまの本願という大きな船に、すでに行き先を託している私たちであります。この確かに照らされながら生きるとき、迷いのたまりにあつても、そつと心が支えられていきます。親鸞聖人の和讃をとおして、阿弥陀さまのおはたらきにあらためて気づかせていただくご縁となれば幸いです。合掌

トロント本願寺 駐在開教使補 杉浦 輝

## 祥月法要のお知らせ

祥月法要とは、祥月命日（故人が往生された月のご命日）をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの仏徳を讃嘆し、報謝の思いでお勤めする法要です。

日時 .. 十二月七日（日）

一月 四日（日）

（日本語 .. 午前十時四十五分から）

（英語 .. 午前十一時から）

※英語法要のみオンライン配信

オンラインでの参拝を希望される方は、その旨を寺院事務所までお知らせください。

zoom Link を送らさせていただきます。

どうぞ故人が祥月でない方もご参拝下さい。

※四月より日本語の時間を変更しました。

法要後には地下のソーシャルホールにてメンバー同士の交流を楽しんでいただければと思います。



モミジでの定例法要の様子

（第2木曜日 10時半～）

※時間変更になっています

本年の成道会法要は、十二月二十一日（日）にトロント本願寺にてお勤めいたします。



成道会は、お釈迦さまが真実に目覚められた十二月八日をご縁として念佛生活を喜ばせていただけます。

ボランティアも登録制で募集しています。お餅は事前注文制（締め切り・十二月二十日）で、お餅の受け取りは午後二時～六時です。

英語版寺報に注文書・登録書を添付していますのでご利用ください。みんなで協力して、楽しいイベントにしましょう！

祥月法要とは、祥月命日（故人が往生された月のご命日）をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの仏徳を讃嘆し、報謝の思いでお勤めする法要です。

日時 .. 十二月七日（日）

一月 四日（日）

（日本語 .. 午前十時四十五分から）

（英語 .. 午前十一時から）

寺院内外に問わず、トロント本願寺の護持発展に対して、ご尽力くださるすべての方々に感謝を申し上げさせていただきます。合掌

## ボランティアの皆様へ

ボランティアも登録制で募集しています。お餅は事前注文制（締め切り・十二月二十日）で、お餅の受け取りは午後二時～六時です。

英語版寺報に注文書・登録書を添付していますのでご利用ください。みんなで協力して、楽しいイベントにしましょう！

## 成道会法要のお知らせ

本年の成道会法要は、十二月二十一日（日）にトロント本願寺にてお勤めいたします。

成道会は、お釈迦さまが真実に目覚められた十二月八日をご縁として念佛生活を喜ばせていただけます。



## 成道会法要のお知らせ

## お餅つきのお知らせ

枕経についての連絡、質問については、留守の場合はメッセージを残していただき、担当者が折り返し対応させていただきます。

法要後には地下のソーシャルホールにてメンバー同士の交流を楽しんでいただければと思います。

トロント本願寺 理事会

# 佛

# 心

二〇一五年十一月号

淨土真宗 本願寺派

今回は、わたしが  
非常に心に残つてい  
る御和讃をご紹介  
いたします。

お淨土行きの船、ただいま予約済み  
だんだんと気温が低くなり、まもなく冬本番  
に差しかかるうとして  
います。



生死の苦海ほとりなし  
ひさしくしずめるわれわをば  
弥陀弘誓のふねのみぞ  
のせてかならずわたしける

多くの方からは、  
「トロントの冬は本当に  
寒いぞ」と言われま  
す。私はまだ、トロントの冬を体験したことは  
ありませんが、「一体どれくらい寒いのだろう  
か」と楽しみと不安の気持ちがあります。ダウ  
ンジャケットとスノーブーツはもう用意したの  
で、あとは待ち構えるだけです。

さて、今月は、何を話そうかと思い色々な仏  
教書を読んでみました。その中で、やはり目に  
留まったのは、親鸞聖人がお書きになつた「和  
讃」であります。日本で法話をさせていただく  
ときは、必ず「御讃題」という、法話をタイト  
ルのようなものを決めます。多くの僧侶は、こ  
の「和讃」から選ばれることが多いです。

「和讃」は、親鸞聖人が阿弥陀さまの御恩に  
対してのお心を歌として表されたものです。特  
に有名な『三帖和讃』は全部で二百九十三首ほ  
どの和讃をお書きになられたそうです。

船（阿弥陀様）が石（私）をそのまま救  
い上げてくださるのです。ですから、私自  
身が特別に変化しなければいけないという  
ではありません。「修行して善人になる  
よう努力しなさい」という仏さまではあり  
ません。私のまま、弥陀の大船によつて導  
かれ、お淨土に生まれさせていただく教え  
が淨土真宗のみ教えであります。

この御和讃を味わうとき、私は、すでに  
お淨土へ向かう「船の予約」をいただい  
ているように感じます。私がこの命を終  
わつた後には、どこへ行くのか迷うのでは  
なく、阿弥陀さまのはたらきによつて、行  
き先はもう“お淨土”と決まつていて。行  
まるで、お淨土行きのクルーズ船旅行が  
待つているかのように感じます。

淨土真宗では、生まれ変わりを考えませ  
んが、あえて言うなら、次に生まれる場所  
は、阿弥陀さまのおはたらきによつて向か  
う、お淨土なのです。迷うことなく、必ず  
そこへ生まれさせていただく。この確かさ  
を、親鸞聖人はこの御和讃で示してくれ  
させつてはいるように感じます。そのように思  
うと、“この先どうなるのだろう”、とい  
う不安がすこし軽くなるように感じます。

阿弥陀さまのおはたらきに、安心をいただ  
けるのです。

苦しみに満ちた迷いの海はどこまでも果てし  
なく続いている。その海に長い間沈んでいるわ  
たしたちを、阿弥陀仏の本願の船だけが、必ず  
乗せて淨土に渡してくださる。たとえ現在  
は、思い通りの生活であつたとしても、愛する  
人の別れや、憎しみの相手にも出会い、また  
いづれは命を終えていくのが私たちの命であり  
ます。思い通りにならない世界だからこそ、親  
鸞聖人は、「苦しみの海」と表されたのでしょ  
う。そして、私たちを海に沈む「石ころ」と譬  
えられています。石はどれだけもがいても水の  
上に浮くことは出来ません。どれだけ頑張つて  
も石は石なのです。

ではこの石が、海上に浮くにはどうしたら  
いいでしょうか。その一つとして船に乗せてもら  
うことです。石が船に乗ることができれば、石  
は石のまま海に浮かぶことができるのです。自  
分の力では海上に浮くことが出来なかつた私  
が、船に乗せられて私のまま海に浮くことがで